

今週（4月22日から4月26日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調に推移した。無担保コールO/N物の加重平均レートは、25日(木)までは0.076~0.077%の高めの水準で横ばい推移となった。26日(金)は、4日積みとなったがレート水準に大きな変化は見られなかった。ターム物に関しては、ショートタームで0.12~0.20%程度で引合いが散見された。週内に金融政策決定会合を控えていたものの、それを材料視したレート水準の変化は見られなかった。日銀当座預金残高は、週初571兆円から始まり、その後は大きな変動は無く、概ね570兆円台での推移となった。また、25日(木)から26日(金)にかけて開催された日銀金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、0.010~0.080%のレンジで推移した。週前半は、オファーサイドの資金調達姿勢が強かったことからレートが上昇したものの、24日の輪番オペ経過後は、オファーサイドの勢いが弱まり、レートは低下傾向となった。SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、特段のイベントがない中、3Mゾーンがやや軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は月末週にあたり幅広い業態で大型発行が実施された。市場発行残高は、22兆円台後半から23兆円台前半での推移となった。発行レートは、0.1%以上での推移となったが、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

CP等買入オペは、24日に事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.120%、平均落札レート0.154%と、前回比（按分0.100%・平均0.129%）で按分、平均共に上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
4/22 (月)	37,438.61	0.880	154.74	0.077	0.068	5,711,700
4/23 (火)	37,552.16	0.880	154.77	0.076	0.068	5,705,500
4/24 (水)	38,460.08	0.885	154.80	0.077	0.031	5,701,300
4/25 (木)	37,628.48	0.890	155.41	0.077	0.013	5,700,000
4/26 (金)	37,934.76	0.920	155.63	0.077	0.012	5,699,600

# 来週（4月30日から5月10日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/29 (月)	昭和の日				
4/30 (火)	3月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 3月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 3月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 3月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 3月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				米FOMC(1日目) 2月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 4月のシカゴPM景況感指数 4月の米CB消費者信頼感指数 4月のユーロ圏消費者物価指数速報値 1-3月期のユーロ圏GDP1次速報
5/1 (水)					米FOMC(2日目) 4月のISM製造業景況指数 3月の米建設支出 EURO祝日(Labour Day)
5/2 (木)	金融政策決定会合議事要旨(3月18・19日分 8:50) 4月のマネタリーベース(日銀 8:50) 4月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	TB3M 58,000億円 5/7発行	流動性供給 5,000億円 5/7発行		3月の米貿易収支 3月の米製造業新規受注・出荷・在庫
5/3 (金)	憲法記念日				
5/6 (月)	振替休日				
5/7 (火)	5月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				3月の米消費者信用残高
5/8 (水)		10Y 26,000億円(見込) 5/9発行	交付税借入 13,000億円(見込) 5/16借入		3月の米卸売売上高
5/9 (木)	決定会合における主な意見(4月25・26日分 8:50) 4月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 3月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 3月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB6M 40,000億円(見込) 5/10発行			英中銀MPC
5/10 (金)	3月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 3月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 4月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	TB3M 58,000億円(見込) 5/13発行	30Y 9,000億円(見込) 5/13発行	エネルギー 対策借入 8,400億円(見込) 5/20借入	5月のミシガン大消費者信頼感指数速報 4月の米財政収支 1-3月期の英GDP速報値

## ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/29 (月)	昭和の日								
4/30 (月)	▲ 900	3,000	2,100	CP買入 国債補完	▲ 1,300 32,400	4,000	35,100	37,200	
5/1 (火)	▲ 1,000	▲ 20,500	▲ 21,500	全店共通	▲ 7,000		▲ 7,000	▲ 28,500	2Y発行▲ 26,000 償還15,500
5/2 (木)	▲ 1,000	▲ 30,000	▲ 31,000				0	▲ 31,000	税・保険料揚げ 交付税借入▲ 13,000償還13,000
5/3 (金)	憲法記念日								
週間合計	▲ 2,900	▲ 47,500	▲ 50,400	—	24,100	4,000	28,100	▲ 22,300	
5/6 (月)	振替休日								
5/7 (火)	4,000	▲ 7,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	TB3M発行▲ 58,000償還56,000 流動性供給▲ 5,000
5/8 (水)	3,000	▲ 1,000	2,000				0	2,000	
5/9 (木)	3,000	▲ 26,000	▲ 23,000				0	▲ 23,000	10Y発行▲ 26,000
5/10 (金)	1,500	▲ 1,000	500				0	500	TB6M発行▲ 40,000償還40,000
週間合計	11,500	▲ 35,000	▲ 23,500	—	0	0	0	▲ 23,500	

4/30は日銀予想、5/1以降は当社予想

## ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続きレート水準に大きな変化は見込まれず、0.07%台後半での出会いが中心になると予想される。債券レボGC T/N物のレート水準は、入札が多く予定されている事から徐々に上昇し、0.010~0.080%のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、5月2日(木)に3M物、9日(木)に6M物、10日(金)に3M物の入札実施が予定されている。また、短国買入オペは、3月12日(火)以降、オファーが見送られており、引き続き需給状況に左右されるが、オファーされるとすれば5月8日(水)に1,000億円程度での実施が予想される。CP市場は、大型連休の中日にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では30日(火)に完全失業率・有効求人倍率、5月2日(木)に金融政策決定会合議事要旨(3月18・19日分)、海外では、30日(火)に4月のユーロ圏消費者物価指数速報、1-3月期のユーロ圏GDP1次速報、30日(火)から5月1日(水)に米FOMC、3日(金)に4月の米雇用統計などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をよく負担頂く必要があります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。